

1 1月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 平成29年11月9日(木) 午前11時

2. 開催の場所 栃木放送本社会議室

3. 委員の出席 委員総数9名
出席委員6名
欠席委員3名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	竹内明子
	委員	大島幸雄
	委員	荒川政利
	委員	平野博章
	委員	河又弘子

局側出席者氏名	代表取締役社長	大塚幹夫
	報道制作局長	川島育郎
	報道制作局編成部長	宇賀神仁

4. 議 題

- (1) 防災・減災ラジオドラマ「とちぎ発 防災・減災ナウ」
(月1回・第4月曜 13:30~13:45 放送、再放送あり) について
報道制作局長 川島育郎
- (2) その他

5. 議事内容

- (1) 防災・減災ラジオドラマ「とちぎ発 防災・減災ナウ」
(月1回・第4月曜 13:30~13:45 放送、再放送あり) について

試聴番組：10月23日(月)に放送した1回目の番組を予め試聴

議題説明：報道制作局長の川島が番組の企画意図について説明。2011年の東日本大震災をはじめ、ここ数年の気象災害など栃木県でも様々な災害が発生している中、防災・減災対策の啓発になるような番組を、ラジオで周期的に取り上げられないかとの思いから番組を企画した事を解説。その上で、聴いている人に分かりやすく伝えるためラジオドラマという形を取り入れて第1回目の番組を制作した事、また今後、減災や防災対策に取り組む大学の学生も巻き込みながら番組作りを進めて行く事などを伝えて議事に入る。

各委員からは、

- 県民にとって、防災は身近で最重要課題なので、知識や意識を浸透させていくという点で、ラジオドラマというのは一つの手法で面白いと思った。最後に防災士会の方の解説が入っていたのも良かった。
- 今後は、毎回ドラマ仕立てでなくても、自主防災組織や行政の実際の訓練の様子、活動内容、さらには地域の取り組みなどをドキュメンタリー形式などでやっていくのも良いのではと思った。
- 今後の放送予定なども番組で紹介してもらえれば、次も聞こうかなという気になると思う。
- 斬新な構成で良かった。世界的にも災害が多い中ではあるが、防災の啓蒙は、何回もやらないと浸透しない。よい啓蒙になっていると感じた。
- 番組は、こういうやり方もあるのかなと感じ、解説も的確でよかった。過去に水害を経験したが、今後は、そうした災害にあった場合の乗り越え方、克服の仕方なども取り上げて欲しい。
- 誰が企画したのかというのが気になる程、良い企画で、防災の必要性、重要性をドラマ仕立てで取り上げたのは良かった。今後は、実際にあった災害の時の緊迫した音声なども交えながら、ラジオの良さ、必要性を訴えていくのも良いと思った。
- ドラマ仕立てという企画自体は斬新で良かったが、前半のドラマ部分と後半の解説部分の関連性が良く分らなかった。
- 防災・減災につながる先人の知恵など、ちょっとした”気付き”の部分を、毎回入れてもらえるとラジオの役割を果たせるのではないかと思った。
- 解説だけだと真剣に聞けなかったかもしれない。ドラマで気分が高まったところで解説があったので、非常によかったなと思った。シナリオ作りは大変そうだが、ドラマは内容が良ければ非常に聞きやすいので、今後に期待する。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

特になし。

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(平成29年11月19日 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載(平成29年11月14日～)

③ 社事務局に議事録備え置き(平成29年11月14日～)

以上